

東京CS

しんぶん

《第12号》

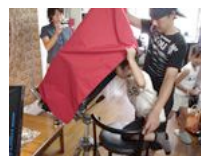
- テーマ「僕らはみんなで生きている」
- テーマ「体に栄養、心に栄養」
- 第5回長野農業体験合宿



■テーマ「僕らはみんなで生きている」

(たつツツー低学年クラス) 2005年9月5日～

■模造紙一枚で、「自分ってどういう人間なのか」を表現します。友達の体の輪郭をなぞって模造紙に書き出したら、どんどん自分についての情報を加えていきます。■どんな顔か！何歳か！生まれた場所！生まれた病院！身長！重さ！まつ毛に楊枝が何本乗るか！見た目の情報は、写真で撮影しよう！自分では見えない自分の背中や後ろ姿は別の人に撮ってもらおう！■初台にある写真家さんのスタジオへおじゃまして、写真撮影の技と、写真家の仕事について教えてもらいました。雑誌に一枚の写真をのせるために、写真家がいる、メーカー担当者がいて、雑誌の記者がいて、デザイナーがいて・・・何人も人の手が加わり、ようやく一つの仕事になる。そんなお話を聞くことができました。スクールで撮った写真を見てもらい、撮影してもらいました。■自分を表すものとして「手型」「足型」づくりをしました。絵の具をつけて。ぺた。指の指紋がうまく写りました。よくよく見てみると、指だけではなく、手のひらにも、足の平？にも、指紋がいっぱい。■最後に、人が自分についてどう考えているのか、インタビューをして聞き出すことにしました。お母さんやお父さんに、自分の名前の意味や生まれた時のことなどをインタビューしました。



■テーマ「体に栄養、心に栄養」

(バンー中学年・高学年クラス) 2005年9月5日～

■疲れているとどうして甘いものが食べたくなるんだろう。体と心ってつながっているのかな？体の内面に向かう作業のはじめのステップとして、毎日3食食べている食事を詳細に記録していきます。■インターネットで調べた体の中の消化系内臓器官をリアルに再現することに。食道、腎臓、肝臓、大腸、小腸、肛門などに担当を決めて、製作開始です。■ビニール、梱包材、スライムをつくる洗剤やほう砂、ゴム、などなど使えそうな材料を家から持ち寄って、自分の担当臓器に近いものを求めて実験です。触った感じまでリアルに追求。■担当ごとにバラバラにつくっていた内臓が、いよいよ一つになります。次に接続する臓器はどこかな？資料を見ながらつなげていきます。■衝撃的な実験が行われました。ポテトチップスから油を抽出。ポテトチップス一袋に、どのくらいの油が入っているか、それを目の当たりにした子どもたちの反応は・・・！■人からの言葉によって栄養をもらうことはあるのか。「勇気」をテーマにした絵本を読んで、どんな時に勇気が出るのか考えてみます。■栄養の採れるお弁当を、それぞれが考えて、まずはイラストにしてみました。TCS 弁当をつくるために、それぞれのお弁当の中から、良さそうな具材を集め、一つのお弁当としてまとめていきます。



■第5回 長野農業体験合宿

2005年9月27日～9月28日

■今年最後の農業体験。今回の収穫物は、稲、さつまいも、きのこです。稲の収穫は、バインダーで一気に行いました。稲を刈ると、ぴょ～んと出てくるバッタ、イナゴ、カエル。■場所を移してもう一つの大収穫、6月に苗を植えたさつまいも畑へ。もはや茶色い土も、黒いビニールも見えません！さつまいも畑は一面グリーン！■いろいろな形のさつまいもが出てくるうちに、バンクラスの子が、S状結腸（S字結腸）の形そっくりのさつまいもを発見。じゃあこれは大きいから大腸、これは小腸、これは十二指腸・・・と、食道から始まって肛門で終わる消化器官を、サツマイモだけで再現していました。■農業体験、最後を飾るのは古旗さんへの感謝会。子どもたちから手渡されたプレゼントは、笑顔の「かかし」でした♪



東京コミュニティスクール Tokyo Community School

〒166-0012東京都杉並区和田3-37-5第5鴨下ビル(1F～4F/屋上)
TEL//03-3313-8717 FAX//03-5305-7234 E-mail//school@tokyocs.org
東京CSしんぶん 編集長//市川カ 編集委員//川口誠

 <http://tokyocs.org/>